

款	項	目						
2	1	1	担当部局・課名	総務部・総務課				
事業名			総務一般管理経費					
事業区分			—					
事業 (経費) 内の主 な費目	節名称		細節名称	予算現額	決算額	繰越額	不用額	執行率%
	①	委託料	①業務委託料(物件費)	33,945	29,629	0	4,316	87.0%
	②	委託料	③施設機器等管理委託料	13,603	13,602	0	1	100.0%
	③	負担金, 補助及び交付金	①負担金(補助費)	37,397	35,887	0	1,510	96.0%
	④							
	⑤							
補正 区分	6月補正	12月補正	⑥(①~⑤の計) →		79,118	決算に関する説明書		
	9月補正	3月補正	⑦その他の節の決算額 * 該当なし"0"を挿入 →		478,221	該当/頁 81~		
	臨時会 補正		⑧(⑥+⑦) 事業決算合計額 →		557,339	該当/頁		
100万円以上の不用額が生じた理由(該当のみ)			・職員健康診断業務について、受診者が当初の見込みを下回ったため。また、会計年度任用職員の勤勉手当支給に伴うシステム改修等が当初の見込みを下回ったため。 ・専門研修等への参加が当初の見込みを下回ったため。					
歳入に関する 項目	決算額 (⑧)	特定財源内訳				一般財源		
		国庫支出金	県支出金	市債	負担金等その他			
令和6年度	557,339	6,355	1,710	737	9,154	539,383		
特定財源 内訳	財源区分							
	補助金・負担金・交付金等の名称							
	国庫支出金	子ども・子育て支援交付金, 子ども・子育て支援整備交付金 等						
	県支出金	子ども・子育て支援交付金 等						
	負担金等その他	雇用保険料, 職員駐車場利用協力金, 一部事務組合財務会計システム受託事業収入 等						
事業内容及び めざした目的 (具体的に)	通送業務, 例規システム管理業務等の委託及び庶務事務システムの運用により事務の効率化を図る。また、顧問弁護士法律顧問業務を通じて市の課題解決を図る。 職員健康診断業務, 短期人間ドックの実施により職員の健康維持を図るとともに、研修への参加等を通じて職員の業務レベル向上のほか、意識改革と資質の向上をめざす。							
事業実績  (詳細説明) 事業一覧表/状況写真/図面等	業務委託料(物件費) システム改修業務委託料 2,585,000円(会計年度任用職員 勤勉手当支給対応) システム改修業務委託料 2,640,000円(定額減税対応) システム改修業務委託料 2,310,000円(児童手当改正対応) 職員健康診断業務委託料 7,537,841円 文書等配送業務委託料 5,610,000円 例規システム管理業務委託料 3,719,760円 顧問弁護士法律顧問業務委託料 1,800,000円 等  施設機器等管理委託料 システム保守管理委託料 13,403,324円 事務機器保守点検委託料 198,660円  負担金(補助金) 短期人間ドック所属所負担金 12,143,000円 研修会等出席負担金 1,150,380円 等							
	別添資料等	無						
	(事業一覧等)							
成果/評価  * 事業を執行したことにより、どのような成果や効果をもたらしたのか	職員の健康診断, 短期人間ドックやストレスチェックの実施等により職員の健康維持を図った。ストレスチェック実施率は98.7%と前年度を1.8ポイント上回った。高ストレス者の割合が横ばいで一定数存在するため、引き続き、カウンセリング等を実施するとともに、衛生委員会で状況を共有し、議論を深め、効果的な対策を検討していく。 経営層と現場をつなぐ要となる課長級職員の人材マネジメント力, 現場リーダーである係長級職員の業務マネジメント力向上に資する研修, 主査級以下の職員の各職位に求める役割認識などを行う自己マネジメント研修を行い, 組織活性化に向けた意識改革に取り組んだ。また, 経験年数や職位に応じて実施する一般研修や, 各業務に必要な知識を習得するための専門研修を通じて, 職員事務レベルの向上を図った。これらにより, 安定的な行政サービスを提供し, 事業を遂行することができた。 児童手当の改正, 定額減税, 会計年度任用職員の勤勉手当支給に対応するため, 人事給与システムを改修した。また, 庶務事務, 旅費管理システムや例規システムの運用保守, 通送業務等の委託により安定的な事務の遂行が継続できた。							

款	項	目	担当部局・課名						
2	1	1	総務部・総務課, 経営企画部・秘書広報課						
事業名			市制施行 20 周年記念事業						
事業区分			継続事業 (拡充)		政策 5 いきいきとした地域				
事業 (経費) 内の主 な費目	節名称		細節名称		予算現額	決算額	繰越額	不用額	執行率%
	① 報酬		その他報償費		1,050	706	0	344	67.0%
	② 需用費		消耗品費		2,069	1,348	0	721	65.0%
	③ 役務費		印刷製本費		1,700	718	0	982	42.0%
	④ 委託料		業務委託料 (物件費)		3,000	1,943	0	1,057	65.0%
	⑤ 負担金, 補助及び交付金		補助金 (補助費)		6,000	5,602	0	398	93.0%
補正 区分	6月補正	12月補正	⑥ (①~⑤)の計 →			10,317	決算に関する説明書		
	9月補正	3月補正	⑦その他の節の決算額 * 該当なし"0"を挿入 →			194	該当/頁	87	
	臨時会 補正		⑧ (⑥+⑦) 事業決算合計額 →			10,511	該当/頁	89	
100万円以上の不用額が生じた理由 (該当のみ)			相手方と業務内容の精査等の協議の結果, 当初の見込み金額を下回る金額で契約したこと等による。						
歳入に関する 項目	決算額 (⑧)	特定財源内訳				一般財源			
		国庫支出金	県支出金	市債	負担金等その他				
令和6年度	10,511	0	0	0	5,602	4,909			
特定財源 内訳	財源区分						補助金・負担金・交付金等の名称		
	国庫支出金								
	県支出金								
	負担金等その他						ふるさと創生基金繰入金		
事業内容及び めざした目的 (具体的に)			本市は, 令和 6 年 4 月 1 日で市制施行20周年を迎えた。この節目に当たり, これまでの20年の市政の歩みを振り返るとともに, これを契機に持続可能なまちの実現に向けた機運の醸成を図る。						
事業実績  (詳細説明) 事業一覧表/状況写真/図面等			<ul style="list-style-type: none"> <li>○報償費(①委員等謝礼)30,000円                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・式典司会者謝礼30,000円</li> </ul> </li> <li>○報償費(⑤その他報償費)705,700円                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・トロフィー代, アトラクション謝礼</li> </ul> </li> <li>○旅費(①費用弁償)31,000円</li> <li>○需用費(①消耗品費)1,347,919円                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・記念式典・記念講演会消耗品等1,347,919円(ステージ装飾, 記念品など)</li> </ul> </li> <li>○需用費(③食糧費)34,340円</li> <li>○需用費(④印刷製本費)717,805円                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・表彰状・感謝状等印刷費250,305円</li> <li>・市制施行20周年記念誌印刷費467,500円</li> </ul> </li> <li>○役務費(①通信運搬費)73,946円(案内状など)</li> <li>○委託料(①業務委託料(物件費))1,942,600円                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・記念講演会業務, 式典舞台業務, 駐車場業務など</li> </ul> </li> <li>○使用料及び賃借料(⑥事務機器等借上料)24,750円</li> <li>○負担金, 補助及び交付金(⑤補助金(補助費))5,602,000円                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・市制施行20周年記念にぎわい創出イベント等補助金5,602,000円</li> </ul> </li> </ul>						
別添資料等			地域型イベント 補助率 2/3 上限 30万円(8件) 参加型イベント 補助率 2/3 上限 50万円(12件)						
無									
(事業一覧等)									
成果/評価  * 事業を執行したことにより, どのような成果や効果をもたらしたのか			市制施行20周年記念事業は, 記念式典や記念講演会の開催などを通じて, 行政と市民が三次市の誇りや愛着を再確認する機会を創出したとともに, 持続可能なまちづくりの実現に向けて機運の醸成を図るものとなりました。						



款	項	目						
2	1	3	担当部局・課名	総務部・財産管理課				
事業名			公共施設解体事業					
事業区分			継続事業 政策 2 安全で快適な生活環境					
事業 (経費) 内の主 な費目	節名称		細節名称	予算現額	決算額	繰越額	不用額	執行率%
	①	委託料	④調査測量設計監理等委託料	6,969	4,578	2,322	69	66.0%
	②	工事請負費	①工事請負費	65,372	51,330	13,626	416	79.0%
	③							
	④							
	⑤							
補正 区分	6月補正	12月補正	⑥(①~⑤の計) →		55,908	決算に関する説明書		
	9月補正	3月補正	⑦その他の節の決算額 * 該当なし"0"を挿入 →		0	該当/頁	90	
	臨時会 補正		⑧(⑥+⑦) 事業決算合計額 →		55,908	該当/頁	91	
100万円以上の不用額が生じた理由 (該当のみ)								
歳入に関する 項目	決算額 (⑧)	特定財源内訳				一般財源		
		国庫支出金	県支出金	市債	負担金等その他			
令和6年度	55,908					55,908		
特定財源 内訳	財源区分	補助金・負担金・交付金等の名称						
	国庫支出金							
	県支出金							
	負担金等その他							
事業内容及び めざした目的 (具体的に)	当初の行政目的による使用が終了した施設や老朽化が進行した施設で今後も利用が見込めない施設を解体することで維持管理費の削減や景観及び生活環境の改善を図る。							
事業実績  (詳細説明) 事業一覧表/状 況写真/図面等	<p>1 決算額 55,908,600円 ・解体実施設計 4,578,200円 ・解体工事 51,330,400円</p> <p>2 削減施設 16施設 解体:9施設 旧香淀水泳プール, 旧森山観光梨園憩いの広場, 旧三良坂放課後児童クラブ, 旧君田診療所医師住宅, 旧吉舎第2分団第4部消防格納庫, 旧港住宅, 旧アースワークセンター, 旧明治の館, 旧黄幡墓地便所・休憩所 譲渡:7施設 旧栄町コミュニティ集会所, 旧君田農園, 旧三良坂のぞみが丘生産物直売所, 旧甲奴地域資源加工センター, 旧灰塚保育所, 旧グループホームかわち, 旧かわち小規模多機能施設</p> <p>3 利用予定のない施設等の売却 売却物件 7件 26,777,486円 旧栄町コミュニティ集会所ほか6件 売却物品 581件 1,791,000円 不用物品 (即売会, 一般競争入札, 官公庁オークション, メルカリShops)</p>							
	別添資料等	無 (事業一覧等)						
成果/評価  * 事業を執行した ことにより, どのよ うな成果や効果をも たらしたのか	<p>「三次市公共施設等総合管理計画」を推進し, 施設利用者及び施設関係者と施設所管課(支所)が地域の将来や施設の方向性を確認しながら取り組み, 施設の削減を行いました。</p> <p>削減目標: 261施設 削減施設: 206施設 (+16施設) 進捗率: 78.9% (+6.1%) (施設解体みなし分22施設を含む削減施設: 228施設 進捗率: 87.4%)</p> <p>不動産売払収入26,777千円, 物品売払収入1,791千円</p>							

款	項	目	担当部局・課名					
2	1	3	総務部・財産管理課・甲奴支所					
事業名			甲奴支所耐震化事業					
事業区分			継続事業 (拡充)		政策 2 安全で快適な生活環境			
事業 (経費) 内の主 な費目	節名称		細節名称	予算現額	決算額	繰越額	不用額	執行率%
	①	委託料	01 業務委託料 (物件費)	570	350	0	220	61.0%
	②	委託料	04 調査測量設計	11,650	11,422	0	228	98.0%
	③	工事請負費	01 工事請負費	219,880	219,219	0	661	100.0%
	④	備品購入費	01 庁舎機具費	2,000	1,499	0	501	75.0%
	⑤							
補正 区分	6月補正	12月補正	⑥ (①~⑤の計) →		232,490	決算に関する説明書		
	9月補正	3月補正	⑦その他の節の決算額 * 該当なし"0"を挿入 →		0	該当/頁	90	
	臨時会 補正		⑧ (⑥+⑦) 事業決算合計額 →		232,490	該当/頁	91	
100万円以上の不用額が生じた理由 (該当のみ)								
歳入に関する 項目	決算額 (⑧)	特定財源内訳				一般財源		
		国庫支出金	県支出金	市債	負担金等その他			
令和6年度	232,490	8,147		209,000	13,753	1,590		
特定財源 内訳	財源区分	補助金・負担金・交付金等の名称						
	国庫支出金	地域防災拠点建築物整備緊急促進事業補助金						
	県支出金							
	負担金等その他	庁舎整備基金						
事業内容及び めざした目的 (具体的に)	昭和44年に建築された三次市甲奴支所は、平成29年に実施した調査により耐震性が確保されていないことが判明したため、耐震改修とリフレッシュ工事を実施する。							
事業実績  (詳細説明) 事業一覧表/状 況写真/図面等	委託料 三次市甲奴支所移転作業(運搬除く)業務 350千円 甲奴支所耐震改修工事監理業務委託 10,450千円 旧甲奴コミュニティセンター解体工事実施設計業務 972千円			 				
	工事請負費 甲奴支所耐震改修工事 217,798千円 (全体工事費:356,397千円) 甲奴支所改修工事に伴う音声告知放送設備移設工事 673千円 甲奴支所改修工事に伴う電話設備戻し工事 748千円							
別添資料等	無							
	(事業一覧等)							
成果/評価  * 事業を執行した ことにより、どのよ うな成果や効果をも たらしたのか	三次市甲奴支所の耐震性を確保し、老朽化した諸設備を更新して行政機能を維持するとともに、公共施設総合管理計画に基づいて周辺の公共施設を統合し、施設管理経費の縮減を図りました。							

款	項	目	担当部局・課名						
2	1	3	総務部・財産管理課						
事業名			市役所本庁舎駐車場整備事業						
事業区分			新規事業		政策2 安全で快適な生活環境				
事業 (経費) 内の主 な費目	節名称		細節名称		予算現額	決算額	繰越額	不用額	執行率%
	① 委託料		④調査測量設計監理等委託料		3,000	2,464	0	536	82.0%
	② 工事請負費		①工事請負費		56,000	14,150	41,850	0	25.0%
	③ 公有財産購入費		②土地購入費		65,000	65,000	0	0	100.0%
	④								
⑤									
補正 区分	6月補正	12月補正	⑥ (①~⑤の計) →				81,614	決算に関する説明書	
	9月補正	3月補正	⑦その他の節の決算額 * 該当なし"0"を挿入 →				0	該当/頁	92
	臨時会 補正		⑧ (⑥+⑦) 事業決算合計額 →				81,614	該当/頁	93
100万円以上の不用額が生じた理由 (該当のみ)									
歳入に関する 項目	決算額 (⑧)	特定財源内訳				一般財源			
		国庫支出金	県支出金	市債	負担金等その他				
令和6年度	81,614				81,614	0			
特定財源 内訳	財源区分	補助金・負担金・交付金等の名称							
	国庫支出金								
	県支出金								
	負担金等その他	庁舎整備基金							
事業内容及び めざした目的 (具体的に)	市役所本庁舎に新たに駐車場を整備することにより、民間駐車場借上経費削減、高齢者などの移動の負担軽減、恒常的な駐車場不足や混雑を解消し、来庁者の利便性の向上等を図る。								
事業実績  (詳細説明) 事業一覧表/状 況写真/図面等	<p>・委託料:測量及び実施設計 2,464,000円                      ・工事請負費:駐車場整備工事 14,150,000円                      (R7への繰越額:41,850,000円)                      ・公有財産購入費:土地購入費 65,000,000円</p> <p>整備概要                      ・位置 十日市中二丁目(本館北側)                      ・駐車台数 40台                      ・購入土地面積 1,142.81㎡                      (令和7年5月完成)</p>								
									
別添資料等	無								
(事業一覧等)									
成果/評価 * 事業を執行した ことにより、どのよ うな成果や効果をも たらしたのか	令和6年度から令和7年度への繰越工事のため、早期供用開始に向け、工事に取り組みました。								

款	項	目	担当部局・課名						
6	1	6	総務部・財産管理課						
事業名			地籍調査事業						
事業区分			継続事業		政策 2 安全で快適な生活環境				
事業 (経費) 内の主 な費目	節名称		細節名称		予算現額	決算額	繰越額	不用額	執行率%
	①	委託料	業務委託料(物件費)		127,286	74,730	52,250	306	59.0%
	②	使用料及び賃借料	事務機器等借上料		2,416	2,416	0	0	100.0%
	③								
	④								
	⑤								
補正 区分	6月補正	12月補正	⑥(①~⑤の計) →				77,146	決算に関する説明書	
	9月補正	3月補正	⑦その他の節の決算額 * 該当なし"0"を挿入 →				10,465	該当/頁 210,211	
	臨時会補正		⑧(⑥+⑦)事業決算合計額 →				87,611	該当/頁 212,213	
100万円以上の不用額が生じた理由(該当のみ)									
歳入に関する 項目	決算額 (⑧)	特定財源内訳				一般財源			
		国庫支出金	県支出金	市債	負担金等その他				
令和6年度	87,611		38,814			104	48,693		
特定財源 内訳	財源区分	補助金・負担金・交付金等の名称							
	国庫支出金								
	県支出金	令和6年度地籍調査事業費負担金(地籍調査費負担金分, 防災・安全交付金分)							
	負担金等その他	地籍調査成果交付手数料							
事業内容及び めざした目的 (具体的に)	地籍調査事業は、毎筆の土地について、土地所有者等の立会を求め、所在・地番・地目・境界を調査し、境界の位置並びに地積に関する測量を行い、その成果を取りまとめた簿冊(地籍簿)と図面(地籍図)を作成するものです。境界をめぐるトラブル防止や課税の適正化・公平化を図ることが主な目的です。								
事業実績  (詳細説明) 事業一覧表/状況写真/図面等	調査対象面積: 748.05km <sup>2</sup> に対する進捗率 令和5年度未進捗率 69.9% 令和6年度未進捗率 70.1% 三次市の面積778.18km <sup>2</sup> との差異は、国有林が除外対象とされているためです。								
	令和6年度事業実績								
	区分	調査面積	執行額:円	実施区域					
	面積測定・閲覧 4地区	3.89km <sup>2</sup>	17,176,500	糸井町, 三玉ほか					
	地籍測量 1地区	0.66km <sup>2</sup>	21,120,000	神杉地区					
一筆地調査 2地区	0.39km <sup>2</sup>	29,447,000	吉舎, 灰塚						
地図訂正 4地区		6,986,603	畠敷町, 高杉町ほか						
別添資料等	無 (事業一覧等)								
成果/評価 * 事業を執行したことにより、どのような成果や効果をもたらしたのか	進捗率(ほ場整備を含む。)は本市全体の70.1%となりました。								



款	項	目	担当部局・課名		総務部・財産管理課				
8	5	1	事業名 定住促進住宅民間譲渡事業						
事業区分			新規事業		政策 2 安全で快適な生活環境				
事業 (経費) 内の主 な費目	節名称		細節名称		予算現額	決算額	繰越額	不用額	執行率%
	① 役 務 費		③ 広告料		330	330	0	0	100.0%
	② 委 託 料		① 業務委託料 (物件費)		3,087	2,776	0	311	90.0%
	③ 委 託 料		④ 調査測量設計監理等委託料		11,652	11,651	0	1	100.0%
	④								
⑤									
補正 区分	6月補正	12月補正	⑥ (①~⑤)の計 →				14,757	決算に関する説明書	
	9月補正	3月補正	⑦ その他の節の決算額 * 該当なし"0"を挿入 →				0	該当/頁	248
	臨時会 補正		⑧ (⑥+⑦) 事業決算合計額 →				14,757	該当/頁	249
100万円以上の不用額が生じた理由 (該当のみ)									
歳入に関する 項目	決算額 (⑧)	特定財源内訳				一般財源			
		国庫支出金	県支出金	市債	負担金等その他				
令和6年度	14,757					14,757			
特定財源 内訳	財源区分	補助金・負担金・交付金等の名称							
	国庫支出金								
	県支出金								
	負担金等その他								
事業内容及び めざした目的 (具体的に)	三次市定住促進住宅の施設の老朽化への対応や入居者の減少などの課題を解決するため、民間ノウハウを活用した老朽化対策や入居率の向上等を目的に民間事業者への譲渡に取り組む。								
事業実績  (詳細説明) 事業一覧表/状況写真/図面等	・役務費:新聞広告 330,000円 ・委託料:不動産鑑定評価業務委託 2,776,400円 用地境界測量等業務委託 11,651,200円  (1) 物件 ア 寺戸定住促進住宅(2棟80戸) イ 寺戸第二定住促進住宅(2棟80戸) ウ 吉舎定住促進住宅(2棟80戸) エ 三良坂定住促進住宅(2棟80戸)  (2) 落札者等 ア 株式会社ホーム産業 イ 大阪府守口市寺内町一丁目11番19号 ウ 契約額 102,780,036円								
別添資料等	無  (事業一覧等)								
成果/評価  * 事業を執行したことにより、どのような成果や効果をもたらしたのか	落札者を決定することができたことから、円滑な譲渡に向けて取り組む環境が整いました。								

款	項	目	担当部局・課名		総務部・財産管理課				
8	5	2	事業名		市営住宅等改修事業				
事業区分		継続事業		政策 2 安全で快適な生活環境					
事業 (経費) 内の主 な費目	節名称		細節名称		予算現額	決算額	繰越額	不用額	執行率%
	①	委託料	④調査測量設計監理等委託料		957	957	0	0	100.0%
	②	工事請負費	①工事請負費		60,728	60,727	0	1	100.0%
	③								
	④								
	⑤								
補正 区分	6月補正	12月補正	⑥ (①~⑤)の計 →			61,684	決算に関する説明書		
	9月補正	3月補正	⑦その他の節の決算額 * 該当なし"0"を挿入 →			0	該当/頁 248		
	臨時会補正		⑧ (⑥+⑦) 事業決算合計額 →			61,684	該当/頁 249		
100万円以上の不用額が生じた理由 (該当のみ)									
歳入に関する 項目	決算額 (⑧)	特定財源内訳				一般財源			
		国庫支出金	県支出金	市債	負担金等その他				
令和6年度	61,684	27,173			34,511	0			
特定財源 内訳	財源区分	補助金・負担金・交付金等の名称							
	国庫支出金	社会資本整備総合交付金							
	県支出金								
	負担金等その他	市営住宅整備等基金							
事業内容及び めざした目的 (具体的に)	安全で快適な住まいを供給するため、老朽化した市営住宅等を計画的に改修し、施設の長寿命化等を図る。								
事業実績  (詳細説明) 事業一覧表/状 況写真/図面等	市営住宅などの長寿命化を図るため、下原住宅外壁改修工事を行いました。								
	1 決算額 61,684,700円 ・外壁等改修工事 60,727,700円 ・工事監理業務 957,000円  2 事業内容 ・外壁や屋上防水改修による長寿命化 ・共用部照明のLED化による長寿命・省電力化								
別添資料等	無 (事業一覧等)								
成果/評価 * 事業を執行した ことにより、どのよ うな成果や効果をも たらしたのか	安全で快適な住宅環境を提供するとともに、長寿命化による更新コストの削減や事業量の平準化が図られました。								



款	項	目	担当部局・課名		総務部・財政課				
12	1	1,2	事業名 元金及び利子						
事業区分			その他事業 (管理部門経費等)		—				
事業 (経費) 内の主 な費目	節名称		細節名称		予算現額	決算額	繰越額	不用額	執行率%
	①	償還金, 利子及び割引料	①長期償還金		5,396,640	5,396,140	0	500	100.0%
	②	償還金, 利子及び割引料	②長期債繰上償還金		495,168	495,167	0	1	100.0%
	③	償還金, 利子及び割引料	③長期債利子		121,944	121,444	0	500	99.6%
	④	償還金, 利子及び割引料	④一時借入金利子		500	456	0	44	91.2%
	⑤								
補正 区分	6月補正		12月補正		⑥ (①~⑤の計) →		6,013,207	決算に関する説明書	
	9月補正		3月補正	○	⑦その他の節の決算額 * 該当なし"0"を挿入 →		0	該当/頁	296,297
	臨時会 補正				⑧ (⑥+⑦) 事業決算合計額 →		6,013,207	該当/頁	298,299
100万円以上の不用額が生じた理由 (該当のみ)									
歳入に関する 項目	決算額 (⑧)	特定財源内訳				一般財源			
		国庫支出金	県支出金	市債	負担金等その他				
令和6年度	6,013,207	0	617	0	73,361	5,939,229			
特定財源 内訳	財源区分		補助金・負担金・交付金等の名称						
	国庫支出金								
	県支出金		森林整備活性化資金制度利子補給金補助金						
	負担金等その他		市営住宅使用料 外3件						
事業内容及び めざした目的 (具体的に)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・建設事業等に充当するために発行した市債の元金償還金及び利子を償還する。</li> <li>・一時借入金の利子を償還する。</li> <li>・後年度負担の軽減のために繰上償還を行う。</li> </ul>								
事業実績 (詳細説明) 事業一覧表/状 況写真/図面等	償還金, 利子及び割引料 (①長期償還金) 5,396,139,568円								
	うち過疎対策事業債 3,125,381,113円								
	辺地対策事業債 118,326,674円								
	合併特例事業債 431,408,915円								
	臨時財政対策債 984,492,562円								
償還金, 利子及び割引料 (②長期債繰上償還金) 495,167,404円									
うち過疎対策事業債 243,445,404円									
合併特例事業債 193,969,328円									
緊急浚渫推進事業債 27,375,625円									
緊急防災・減災事業債 19,497,618円									
償還金, 利子及び割引料 (③長期債利子) 121,443,533円									
うち過疎対策事業債 61,461,667円									
辺地対策事業債 875,880円									
合併特例事業債 10,871,663円									
臨時財政対策債 9,996,685円									
償還金, 利子及び割引料 (④一時借入金利子) 456,186円									
別添資料等	無 (事業一覧等)								
成果/評価 * 事業を執行了 ことにより, どのよ うな成果や効果をも たらしたのか	令和6年度は495,167,404円の繰上償還を行い, 後年度の利子負担を6,226,167円軽減しました。								